



お お と り

茂原市立南中学校
学校だより 第2号
令和6年5月1日

～ Change は Chance ～

貴重なお時間を割いて、各部活動の春季大会での熱心な応援ありがとうございます。残念ながら事情により十分な観戦ができなかった部もあったようですが、保護者の皆様のお子さんへの思いはきっと届いていると思います。

また、4月19日（金）の学校公開では、お忙しい中、たくさんの保護者の方に参観いただき、重ねて御礼申し上げます。お子さんの学校での様子はいかがだったでしょうか。我々教員も、授業改善を常に心がけ、未知の可能性を引き出せるよう努力してまいりますので、PTA活動も含め、引き続き御支援をお願いします。

さて、新年度が始まり、1か月が経ちました。朝、目を合わせて笑顔で挨拶をしてくれる生徒も増えてきました。学校教育目標をふまえて、始業式・入学式で生徒に向けて話した概要をお伝えします。主に3つの内容です。学校教育目標の中で職員が重視し決定した「魅力あふれる生徒」というキーワードが実現できるように努力してまいります。

1 「1を100にするよりも、0から1を生み出そう」

日本は、海外から入ってきた文化を日本独自に発展させてきた歴史があります。そのことも素晴らしいことですが、その一方で日本が生み出し海外から称賛されたこともたくさんあります。社会の急激な変化の中で、新たな課題を乗り越えていくためには柔軟な発想と豊かな感性が必要です。様々なことに興味をもち、感性を磨くことで、独創的な発想が出せるよう、意欲的に学習に取り組んでもらいたいと思います。

2 「他人の夢を笑わずに、自分の夢を笑顔で語ろう」

かつて、自分が関わった生徒達の中に、将来の夢を周囲に話した時、「そんなの無理だよ」と周りから言われた人達が、夢をかなえています。原動力は、「好きだから」だけです。でも、もし、それをあきらめることになって、違う道に進んでもそれは挫折ではなく、新たな道に進んだだけのことです。まだ開花していないかもしれない才能を探しながら、生き生きと輝ける道を見つけてほしいと思います。

3 理想の学校を目指して（早野中との統合に向けて）

1年生が3年生になったとき、早野中の生徒と一緒に過ごすこととなります。そこで、「南中は素晴らしい学校」だと誰からも言ってもらえるよう、学習面や生活面など、今までの姿を見直し、よりよい学校となるよう改善してほしいと思います。「Change は Chance」と言われます。あるべき学校の姿を目指し、生徒・教員がともに歩みを進めながら、南中に関わるすべての人達が、笑顔で自慢できるような学校を作っていきたいと思います。

校長 吉野 広隆